

2021

12月

定例会

日本共産党

宇治市会議員団だより

連絡先 宇治市宇治琵琶 33

TEL : 0774-22-3141 (市役所) (内線 2817 議員団室)

FAX 0774-24-7884 mail アドレス jcpuji@leto.eonet.ne.jp

jcpuji



市民の暮らしと生業まもり 希望の持てる社会を



予算要望書を提出する党議員団(前列右から、大河、徳永、坂本、宮本、後列右から、渡辺、山崎匡、山崎恭一の各議員)

12月定例会(11月30日～12月24日)に、市長から提案された議案第91号は、非正規の公務員である会計年度任用職員のわずかな一時金をさらに0.05カ月減額するもの。議案第75号は、個人情報流出や政府による情報一元化などの問題があるもとで、「マイナンバーカード」を利用して住民票などの申請を可能にするも。議案第80号は、市民の文化芸術の拠点である文化会館について、市の責任で維持・管理・運営を行うために市が出資・設立した公社が担っていた指定管理者を民間会社を選定するもの。党議員団は、3議案の問題点を明らかにし反対しました。

市長は、子育て世帯への臨時特別給付金を早期に支給するとして、会期中に補正予算を追加提出しました。

党議員は、「2回に分けて支給することで多額の事務費を要するため一括支給すべき」と指摘しました。

しかし、市は5万円を現金で、残り5万円はクーポンとの国の方針どおり支給する方針を変えませんでした。

ところが、政府が、分割支給すれば事務費が1000億円近くかかるとの批判の受け、「一括現金交付も可」と方針変更しました。

府内26町村のうち23町村が年内一括給付を決めるなか、宇治市は、2回目を現金給付にと変更こそしましたが、分割給付のままとなりました。

「自己責任」を強いる新自由主義を転換し、希望のもてる社会を



市議団へのお声はこちらへ

宮本 繁夫

山崎 恭一

坂本 優子

渡辺 俊三

山崎 匡

大河 直幸

徳永 未来

中学校 給食

小学校で作って中学校へ運ぶ親子方式に 現在の小学校の給食室を活用して実施を

市教委は2023年度中に中学校給食を給食センター方式で実施するとしており、給食センターの用地取得のリミットは2021年中と設定していました。しかし、12月定例会にはセンター用地の取得は提案されませんでした。

親子方式ならすぐにでも 中学校給食は実現できる

党議員の追及に、市教委は「用地取得は大変厳しい状況」とセンター方式での中学校給食が遅れていることを認めました。

党議員は小学校の給食室から中学校に給食を運ぶ親子方式ならば、すぐに中学校給食ができると追及しましたが、市教委は「多数の小学校で新たに給食室を整備する必要がある」と答弁しました。

しかし、多くの小学校では最高時に1,000人以上の給食を、今の給食室で作っていた実績があります。生徒数の減少で食数を増やす余裕があり、それを中学校に運べばすぐに中学校給食

を実施できます。

食数を増やすことや、中学校に運ぶ際に給食室を改修しなければいけない法令はあるのかとの追及に、市教委は「ない」と認めました。

センター方式から親子方式に 方針変更を求める

党議員は「私たちが提案している親子方式は既存の給食室を利用した親子方式だ。新しい給食室を何校分も作った親子方式など前例もなければ聞いたこともない」と指摘。さらに、「小学校の給食室が老朽化しているなら年度計画をつくって対応すること。中学校給食とは別の話。いま市教委の課題は中学校給食を

早急に実施することだ」と追及。

親子方式に切替えて中学校給食を早急に実施するべきと、方針変更を求めました。



生理の 貧困

学校や公共施設のトイレに だれもが使える生理用品を!

党議員団が求めた無償配布が開始

「生理の貧困」対策が各自治体で進められている中、宇治市役所と男女共同参画センターで、昨年12月から生理用品の無償配布がスタートしました。

しかし、窓口でカードを見せないともらえないなど問題があります。誰もが安心して使えるようにトイレの個室に設置することを求めています。

また、市立学校では、保健室に申告しなければ生理用品をもらう事ができず、「他の子どもの目が気になる」、「知られて恥ずかしい」など自尊心を傷つけられる場合があります。

学校トイレ個室に生理用品常設を

子どもの権利条約の4つの原則の中には、「子どもにとって最も良いこと」、「意思を表明し、参加できること」があります。

他の自治体では、児童・生徒全員に生理用品の設置についてアンケートを実施するなどして、その声に基づいてトイレ内やトイレ個室に自由に使えるよう生理用品を常設しています。

市教委は、子どもの権利・気持ち・尊厳を第一に考え、指導や管理ではなく、児童・生徒の声を聞き、学校トイレに生理用品を常設すべきです。

気候変動

地球温暖化防止 市のCO₂削減目標は達成困難

2021年開かれた国連のCOP26では、気候危機の打開にむけて世界が結束して対応することを合意しました。ところが日本政府は石炭火力発電や原子力発電に固執し、国際的な批判の対象となっています。

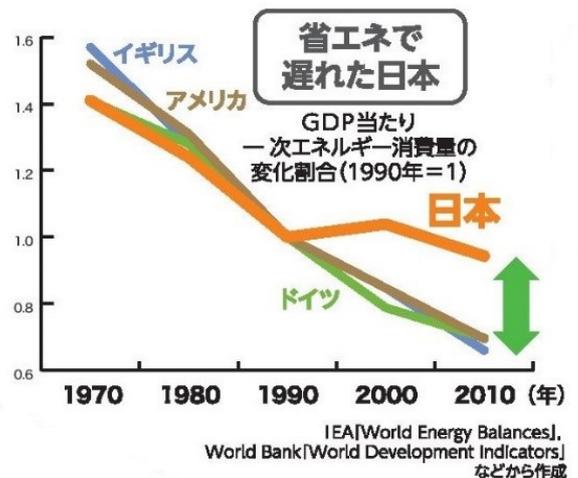
CO₂削減目標 実現へ対策強化を

宇治市の第2次地球温暖化対策は、2012年度までの第1次計画では、温暖化ガス排出削減目標10%減に対し、11.9%増と後退。第2次計画では、2023年度までに25%削減を掲げていますが、党議員の追及に達成は厳しいと答弁しました。

党議員は、残り2年間での目標達成に向けて、「公共施設に太陽光パネルの設置」、「公用車をすべて電気自動車にすること」、「市民の住宅の省エネ改修に補助をすること」、「市の本気度を示す気候非常事態宣言を出すこと」などの強化策を

とるべきと提案しました。

市は、270の公共施設のうち太陽光パネルを設置しているのは8施設で、改修時には設置を検討する。電気自動車は2台保有だが、具体的な増加の目標は掲げていない。住宅の省エネ化に対する補助制度は調査研究したい。非常事態宣言は予定していない等と答弁。国や府の動向をみてから考えるという姿勢を繰り返しました。



指定管理

指定管理者の変更条例が可決 市文化会館も民間事業者の運営に

市出資公社の解散、解雇は無責任

公の施設は、地方自治体の責務である「住民の福祉の増進を図る」目的があります。

市は、これまで市が100%出資し設立した公社に、その維持管理・運営を委託してきました。

しかし、2020年度に墓地公園の指定管理者を霊園公社から民間に変更。そのため、霊園公社は解散となり、職員が解雇されました。

市長は、12月議会で、文化会館(宇治文化センターなどの施設)の指定管理を民間の「アクティオ(株)」に選定する議案を提出しました。

党議員団は、公共施設は市が直営で維持管理、運営すべきであると反対しましたが、賛成多数で可決されました。

文化・芸術振興の施設に

文化会館条例では、「市民の文化の向上と社会教育の振興を図り、市民福祉の増進に寄与する」ために設置するとしています。

文化会館の事業には、公益事業と自主事業があります。

党議員が、「民間の儲けを優先する自主事業が優先されれば、市民の文化芸術を享受する権利を担う公益事業が、軽視されるのではないか」、「現在、文化会館にいる職員や舞台装置、館内外の清掃を担う事業者はどうなるのか」と追及すると、市は「新たな指定管理者のもとで決定される」「未定である」等と無責任な答弁を繰り返しました。

小中 一貫校 問題

学校の基本コンセプトもなし、地域や 団体活動は後回して学校建設という事態に

市は9月定例会で、西小倉地域の小中一貫校について、基本コンセプトもないまま2億8千万円の設計予算(債務負担の設定)を決めました。

党議員がその後について追及すると、教育長は「地域から跡地利用など学校以外で考えることが多くあるとの質問があり、市長部局を含む新組織を立ち上げると了解を得て協議会を終了した」と答弁。

党議員は「市教委が地元にお願ひし協議会を立ち上げてもらったのに、開設場所が決まったので、これからは市主導ですすめる」はあまりにも身勝手だと批判しました。

党議員は「黄檗学園は、校区の変更はなかったが、西小倉地域の小中一貫校は、3小1中の統廃合で校区は9千世帯、人口1万9千人だ。市の地域福祉計画でも『地域福祉推進における基本活動エリアは小学校区とする』と、学区福祉委員会や体育振興会、青少協なども小学校区ごとにつくられ活動している。この方針とも矛盾する」と追及。

市長は、「いろんなコミュニティのあり方があり、学校統廃合してからコミュニティのあり方を考える」と答弁。

また、給食は、「小学校は自校方式、中学校はセンター方式とするのか」との追及に教育部長は、「基本設計を進める中で検討する」と答弁。



法律相談

毎月第一金曜日
午後2時から議員団控室
事前に議員にご連絡ください。

意見書・請願

共産党提案の意見書2件と市民団体提出の請願3件

自民、公明、未来、維・宇などが反対

共産党提案の意見書2件と市民団体提出の請願3件、いずれも賛成少数で不採択になりました。子下の()内が賛成会派 ※無会派1=浅井議員、無会派2=佐々木議員

意見書

- ① 「敵基地攻撃能力の保有」の検討を行わないことを求める意見書(共産・無会派2)
- ② 新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染拡大防止への対策強化を求める意見書(共産)

請願

- ① 国に対し刑事訴訟法の再審規定改正におけた審議促進を求める意見書の提出を求める請願(共産・無会派1、2)
- ② 教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願(共産・無会派2)
- ③ 誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう宇治市の保育充実を求める請願(共産・無会派2)